

高齢出産・パパ育児・海外&セレブの子育て事情etc.

SUKUSUKU PARADISE

すくすく パラダイス

投稿総数
438通!

かわいいコスプレ
写真がいっぱい!
【おもしろ写真王国】

Vol.7 定価390円

平成20年1月15日発行第5巻第2号通巻45号 本誌にあつたゆかいな話DX115増刊号



投稿総数
1239通!

我が子との
My感動秘話!!

泣けるのは
私だけじゃ!?!

「うちの3姉妹」
松本ぷりっつ

“アホ息子(3歳)の突然の優しさ...” “泣きながら娘(2歳)と二人で見た夕焼け...” “あの泣き虫がお兄ちゃんになった日...”

SukuSuku Paradise January 15th, 2008 Issue

すくパラドキュメント

学習法のベースは

インド式!

家庭的な
環境で英語が
身につく

リトル エンジェルス

イングリッシュ・アカデミー&インターナショナル幼稚園

www.AngelsEnglish.com



インドでは2歳から学習するのがあたりまえ! その方針のもと、インド出身の代表が4年前に開園したインターナショナル幼稚園。英語はもちろん、算数、パソコンetc.あらゆるレッスンをこなす子どもたち。気になるその学習風景を徹底レポート!

息子に教えることから
はじまった一軒家の幼稚園

「Good morning!」

住宅街の一軒家にオレンジ色のトレイナ―やTシャツを着た子どもたちが母親に連れられて続々とやって来る。玄関で出迎えているのは代表のラニ・サンクさん。入り口にかかれた黄色の看板、かわいらしくクリスマスの飾りつけがされた外観は、一見おしゃやかな雑貨屋さんのようにも見える。しかし、ここはれっきとしたインターナショナル幼稚園「リトルエンジェルス・イングリッシュ・アカデミー&インターナショナル幼稚園」。2〜6歳まで45人の子どものたちが、先生や友達と英語でやりとりしながらさまざまなカリキュラムをこなす。

代表のラニさんはインドの出身。18年前に来日した。2人の息子を日本で育てることになったのだが、そこで疑問を感じたのが日本の幼児教育システム。インドでは日本より一年早い5歳(年度中に6歳になる)で小学校に入学。2〜3歳から学習をはじめ早期教育があたりまえ。日本の幼稚園はどうして学習の時間がないの? 自らも幼い頃から学習の習慣を身につけ、勉強漬けの学生時代を送ったラニさんには物足りなく感じられた。今でこそ英語の学習に力を入れる幼稚園もだいぶ増えてきたが、ラニさんの息子がそれくらいの年齢だった頃にはまだ少数。ならば自分で教えるしかない

リトルエンジェルス幼稚園 一日のスケジュール例

9:00~9:30	順次登園&自由遊び
9:35~10:30	レッスン
10:30~10:45	おやつ
10:50~11:30	工作/お絵かき/コンピューター
11:35~11:50	音楽、ビデオ、読書の時間
12:00~12:45	昼食
12:45~13:00	自由遊び
13:00~13:50	レッスントime

※水曜日を除く月曜日～金曜日は9:00～14:00
水曜日は9:00～12:00。
月に一度、親子での昼食とプログラムあり。
延長保育可能。



インド式をベースにした オリジナルのカリキュラム

と、ラニさんは各国の学習法を学び、2人の息子たちに独自に英語などを学習させた。それがラニさんが教えること、先生としてのほじまり。そして日本の子どもたちにその学習法を広めるべくリトルエンジェルスを開校した。

リトルエンジェルスはインターナショナル幼稚園が開園したのは2004年4月。今年度はじめて卒園生を送り出す。幼稚園としてスタートする以前から英語のレッスンは行っていたが(現在も幼稚園とは別に英語を中心としたレッスンをやっている)、幼稚園をスタートさせた時点で園児はたったの5人。それが口コミで徐々に園児が増え、現

在はフルの状態に。最近ではインド式計算などインドの教育法が目立った影響もあってか問合せや見学も多く、今後は面接で入園者を選ぶという事態になりそうだという。

インドの方が代表をつとめるインターナショナル幼稚園と聞くと、カリキュラムはここのインド式、猛烈に学習している様子を想像してしまうが、リトルエンジェルスは違う。ベースとなるのはインド式の学習法だが、算数はインド、理科の実験はアメリカやイギリス、音楽は日本...と各国の教育法の良い部分を取り入れ、独自のカリキュラムを作っている。というのもラニさん曰く、どの国を探してもパーフェクトなカリキュラムは存在せず、どこか片寄りがある。からだそう。インドでは幼いうちから暗記を中心とした学習が

盛んだが、ラニさんはパソコンを使うのがあたりまえの現代にそこまで暗記する必要はないと考える。しかし、年齢に応じた学習レベルを知るにはインド式が最適。そのベースに従いつつ、インドのように勉強オンリーではなく、子どもたちがリラックスして楽しく学べるような環境をリトルエンジェルスは作り出している。

アットホームで気取らない インターナショナルな環境

登園後、自由に遊んでいた子どもたちも9時半からはレッスンの時間。2〜4歳児クラスがまず行うのは音楽に

合わせた歌やダンス。

「.....ninety-five, ninety-six, ninety-seven, ninety-eight, ninety-nine, one hundred!」

スタートを待つ間、百までを英語で数えるのだが、百まででは満足せずもっと数える子、友達とふざけあう子、皆早く体を動かしたくてうずうず。

「Let's start!」

音楽がはじまると子どもたちはラニさんや他の先生たちと共に元気いっぱい体を動かす。そして歌う、笑う。先生の指示(もちろん英語!)があると、手を叩いたり動物の真似をしたり...。リズムカルに体を動かしつつ、子どもたちは知らぬ間に英語を吸収している



ユーモアを交えた絵本の読み聞かせは子どもたちを飽きさせない。



ものすごい集中力でパソコンを操作する園児たち。
パソコンの学習は3歳からスタート。



朝の歌とダンスで頭も体も目覚める。
ラニさんも子どもたちもみんな笑顔。

ようだ。2歳児クラス(今年度中に3歳になる子が集まるクラス)は英語、日本語の区別なく言葉自体を徐々に覚える時期なので、日本語で話す子もいる。うだが、先生が受け答えるのは英語。3歳児クラスからは、子どもと先生のやりとりはすべて英語となるそう。4〜5歳児クラスの年中、年長さんともなれば、先生とのやりとりはもちろん、友達との会話、けんかなどでも英語が口から出てくる。その姿はまさにネイティブスピーカー。ちよつとした海外旅行なら困ることはないレベルだ。

英語が自然と身につくというのがインターナショナルの最大の魅力。ある程度大きくなってから苦労して学んだ、あるいは挫折して身につけなかった親たちにとって、その環境はありがたい。しかしインターナショナルといえば、外国籍の子どもも多く、親同士の会話に英語が必要な場合も。それに費用も高い。ほとんどの人が子どもが幼稚園の年齢に達するとき、インターナショナルは選択肢に入れないだろう。リトルエンジェルスも費用も決して安くはないが、他のインターナショナルの園と比べると、かなりリーズナブル。とても手が届かないというような額ではない。というのもラニさんはより多くの子どもたちに学ぶチャンスを与えたかったから。高額な費用がかかるのは学べるのは限られた人だけ。そうならないために、リーズナブルな費用を設定できるよう努力をしているのだ。

で子どもが通訳するなんてことも…。インターナショナルに敷居が高いというイメージがないのも、この園の魅力だろう。

**子どもが飽きない方法で
楽しく学んでグングン伸びる**

【Interview】

先生が指示を出すですらすらとノートに数字を書き込み、書き終わると素早く手を上げる。すると先生は次の指示。さらに終わると、また次の指示…。これがリトルエンジェルスの算数の学習風景だ。早く終わった子には時間を余さず次の問題を与え、ゆっくりめの子も自分のスピードでがんばらせる。こなすべき課題を終えれば、その後存分に遊べることを子どもたちはわかっている。問題を解くのに時間がかかる子も途中で投げ出さず、集中して取り組む。こうして子ども

リトルエンジェルスの 教育方針

- 自由な発想を尊重する。
- 自信を持たせる。
- 家庭的な教育。
- 創造性を伸ばす。



それぞれのスピードで考え、
コツコツと解いていく。



頭がフレッシュな朝の時間帯に、ノートと
えんぴつを使って英語や算数の学習を行う。

卒園時にはバイリンガル! 力を継続させるためには:

リトルエンジェルス幼稚園はまだ創

たちはできる喜びや目標を達成することとを体験し、学習する楽しさを身につけていくのだという。高度な学習を子どもたちにさせようとするとスパルタ式になりがちだが、リトルエンジェルスにはそういったビビリした空気はない。一軒家という園の構造上、一クラスも10人と少なく、家庭的な雰囲気のないもあるのだらう。ラニ先生が子どもたちの集中力の持続時間を考えると、ひとつのプログラムを行うのは15分が限度。そのため短時間ずつのプログラムに従って教室や先生が変わり、園内の移動も多いため、その間子どもたちはどうしても騒がしくなる。そこをビビヤリと叱るのが、ラニお母さんなのだ。リトルエンジェルスの行事はピクニックにハロウィーン、クリスマスパーティーなどインターナショナルらしいものが揃う一方で、大根掘りの体験学習などユニークなものも。日本の幼稚園でさかに行われる芋掘りのような農業体験は他国にはない行事。それをラニさんはとても気に入って、自身の園の行事として取り入れたのだそう。まさに各国の良い部分を融合させたオリジナルの学習法である。

ラニさんが語る

育児のポイント

育児する上で大切なのは、なんといってもコミュニケーション! これは親と子どもはもちろん、夫婦間、家族全体に必要なこと。子どもができて、子どもにばかり構っていて、つい旦那さんのことをおろそかにしがち。日本のお母さんにはそういう人が少なくないですね。子どもに対して「今日は幼稚園で何やったの?」という質問ばかりになりがちですが、「お母さん、今日○○やったの。でも失敗しちゃった…」などと、良いことも悪いことも自分のことを子どもに話し、心をオープンにしましょう。理解していないから

…などと思わず、1~2歳の子どもに対してもどんどん話して! 旦那さんも同じ。夫婦の時間を作るため、延長保育を利用するのは大歓迎!



Little Angels English Academy
& International Kindergarten
東京都三鷹市上連雀1-3-2
Tel/Fax 0422-52-8381
<http://www.AngelsEnglish.com>

立して4年弱。はじめての卒園児たちが今後どのように成長するのか楽しみである。しかし幼稚園で質の高い学習を行ったとはいえず、独特の環境に身を置いた少数派。公立小学校などに進んだ場合、浮いてしまうのではないかと、学んだことをほとんど忘れてしまったうのではないかなど、保護者たちに不安はあるかも知れない。実際、本人のやる気、学習を継続させる親の意思がなければ、どんどん力は落ちてしまうだろう。もちろんラニさんもそれは望んでいない。来年度から新たにリトルエンジェルス小学校を開校し、さらに理想的な学習環境を整える予定である。もちろん公立小学校などに進むことに

も賛成だが、その場合、習い事としてレッスンは続けることを勧める。
リトルエンジェルスのような幼稚園で学べば、確実に子どもの英語力はつき、本人も親も後で苦労せずに済むかも知れない。しかし日本で生活をしながら、おなじみの童謡もまず英語で歌詞を覚え、次に日本語の歌詞を覚えるという状況には違和感も。リトルエンジェルスには過剰に教育熱の高い保護者はいないそうだが、幼稚園を選ぶ場合、早期教育! と意気込む前に、その環境に身を置くことが自分や子どもにとって無理がないか、よく考える必要があるだろう。

(構成・取材 田上幸代)